

「ルクミー®」がリニューアルし、データ連携強化で業務負担の削減と
保育の質の向上までを一気通貫で提供。

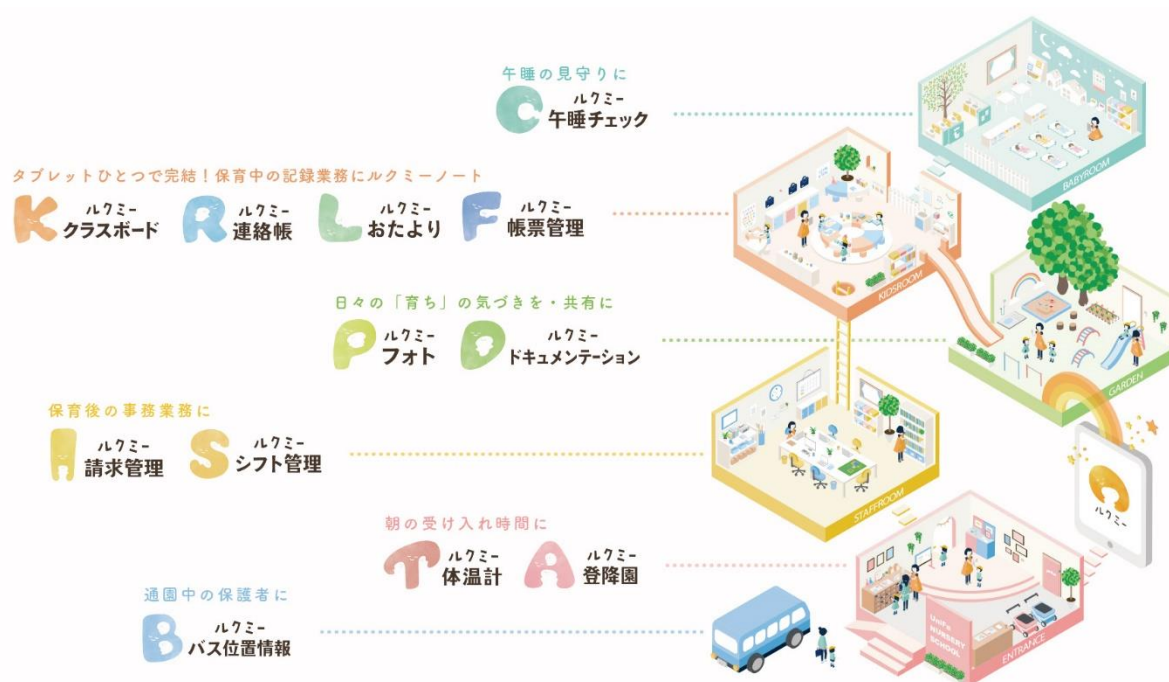
同時に、研修サービス「ルクミー みらい保育スクール」を開校。

総合 ICT/研修サービスとして、保育業界の付加価値の向上へ寄与。

テクノロジーの力で保育や子育てに関する社会課題を解決するユニファ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：土岐泰之、以下「ユニファ」）が展開する保育支援サービス「ルクミー」はリニューアルし、データ連携を強化し、保育関連業務の DX（デジタル・トランスフォーメーション）をより加速させながら、保育者の業務負担の削減と保育の質の向上を目指します。

同時に、東京大学名誉教授である汐見稔幸先生を始め、高い専門性を持った講師陣等と共に学ぶ研修・コミュニティとして「ルクミー みらい保育スクール」を新たに開校し、保育者が保育の楽しさ・やりがいを実感でき、より良い保育を実現できるよう伴走していきます。

「ルクミー」は、新しいプロダクトおよび研修サービスの提供を通じて、保育業界の付加価値の向上へ寄与していく総合 ICT/研修サービスとして進化を続けていきます。



1. 新「ルクミー」シリーズについて

■ 業界初^{*1}、保育者の業務負担の削減から保育の質の向上までトータルソリューションで提供

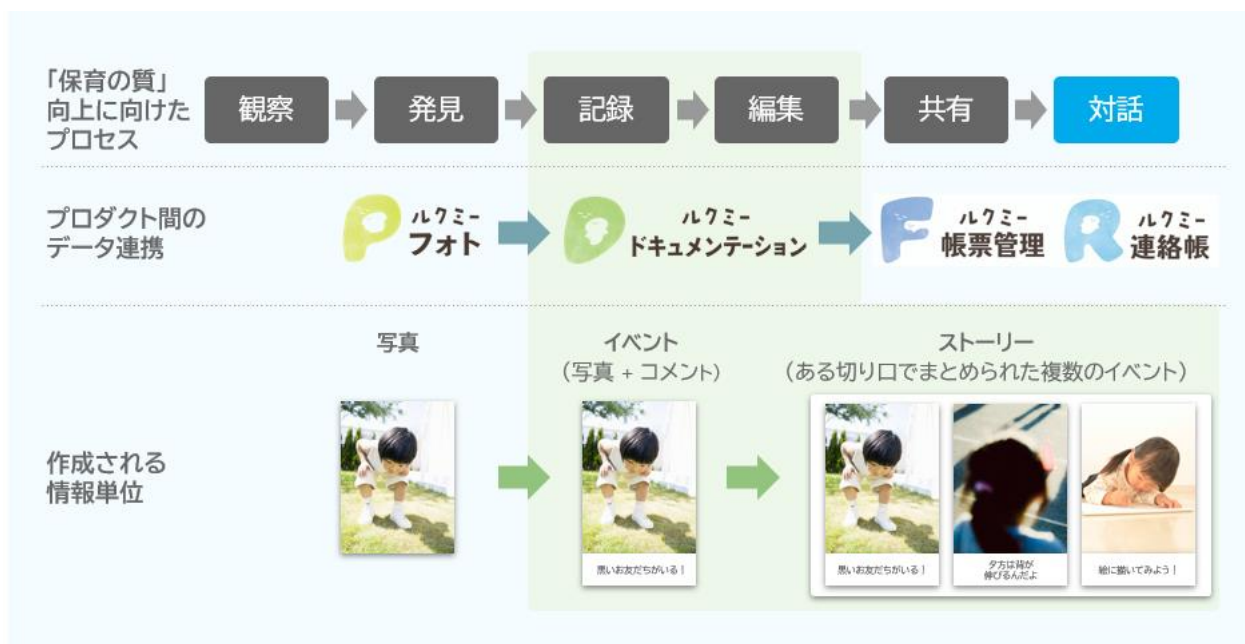
女性の就業率の向上や共働き世帯の増加により 1-2 歳児の保育所等利用率が 50%を超えるなど※2、保育施設は働きながら子育てをする人達の社会インフラとして重要な役割を担っています。

そんな中、全国の保育士の有効求人倍率は約 3.9 倍と、全職平均（約 1.6 倍）の 2 倍以上※3 となるなど、依然として保育士不足は深刻な社会課題です。また、長時間労働や業務負荷が大きいといった理由

から、保育士資格を有しながら保育士として働いてない“潜在保育士”は約 100 万人も存在し、保育士有資格者全体の約 60%※4 を占めています。

保育者の業務には、子ども達の登降園管理やお昼寝（午睡）時の見守り、保育日誌や保育計画の作成、保護者や自治体へ提出する書類作成、保育者のシフト管理まで、非常に多岐にわたります。加えて、保育者が作成しなければならない書類の多さや保育の周辺業務、補助業務での ICT 化が進んでいないことが、保育者が多忙である要因だと指摘されています※5。

「ルクミー」シリーズは、データ連携を強化し、登降園状況や検温、睡眠、食事、排便等のデータや、ルクミーフォトで撮影した写真が自動で集約され、帳票や連絡帳へ自動転記されます。これにより、保育関連業務を DX（デジタル・トランスフォーメーション）し、業務負荷の大幅な削減を実現し、保育者の心と時間のゆとりを創出します。



また、創出できた時間によって保育者にとって重要な子どもと向き合う時間を増やし、写真ドキュメンテーション作成機能の提供により、保育者同士で子どもたちの成長に関する気づきをさらに共有しやすい環境を作り、豊かなコミュニケーションを増やすことで、保育者のやりがいの創出や保育の質の向上にも貢献します。業務負担の削減から保育の質の向上までをトータルソリューションとして提供できるのは、保育業界の中でも「ルクミー」が初※1 となります。

※1：登降園、出退勤、シフト、連絡帳、帳票、写真撮影、午睡チェック自動記録、検温自動記録、請求管理機能すべてを 1 社で提供する点において業界初（全国、2021 年 6 月 15 日時点、自社調べ）

※2：出典「保育所等関連情報取りまとめ」（厚生労働省 令和 2 年 9 月）

※3：出典「保育士有効求人倍率」（厚生労働省 令和元年 1 月）

※4：出典「保育士の現状と主な取り組み」（厚生労働省 令和 2 年 8 月）

※5：出典「保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書」（厚生労働省 令和 2 年 9 月）

■ 提供サービスについて (<https://lookmee.jp/>)

カテゴリ	サービス名	サービス内容
(a) 記録・確認業務の負担軽減	ルクミークラスボード	クラス運営に必要なさまざまな情報を一元管理できるサービス。連絡帳と登降園と連携することで、体温・睡眠・食事・排便等の記録、お迎え予定等が記録されます。
	ルクミー連絡帳	保育施設と保護者の連絡をスムーズにするツールサービス。体温や食事等の記録はクラスボードから自動で転記します。
	ルクミーおたより	保育施設からのおたより・お知らせを保護者へ確実にスピーディに一齐送信できるサービス。
	ルクミー帳票管理	指導計画や保育日誌などを監査対応した形でデータ化し、管理できるサービス。
(b) 写真を使った保育の振り返り	ルクミーフォト	専用アプリで撮影すると、写真のアップロードやクラス分け、販売、決済、プリントまで自動化される写真販売サービス。
	ルクミードキュメンテーション	ルクミーフォトと連携し、保育の振り返りを手間なく行えるサービス。
(c) 健康管理	ルクミー午睡チェック	午睡センサーで乳幼児のお昼寝（午睡）中の体の向きをチェックし、アプリによって自動で記録するサービス。
	ルクミー体温計	非接触型の体温計で検温でき、アプリによって自動で記録するサービス。
(d) 園・施設の運営支援	ルクミーシフト管理	自動入力によって保育者のシフトの素案作成が簡単にできるサービス。
	ルクミー登降園	園児の登降園時間を記録・管理するサービス。
	ルクミー請求管理	延長保育料を自動計算し、保護者へ請求書の作成も簡単にできるサービス。
	ルクミーバス位置情報	送迎バスの位置情報を園、施設、保護者へリアルタイムでお知らせするサービス。

2. 「ルクミー みらい保育スクール」について

学びたい。変えていきたい。
子どもたちのために、未来の保育のために。

ルクミー みらい保育スクール



■ 開校の背景

ユニファは「スマート保育園®・スマート幼稚園®・スマートこども園®」構想を掲げながら、テクノロジーを活用した保育現場の業務負荷の削減と保育の質の向上を推進してきました。当社のルクミーシリーズを一括導入したモデル園の中には、月間で約 65%の業務時間の削減※6を実現した保育施設もあり、ICT の活用が保育現場の環境改善に一定程度寄与できることが分かってきました。一方で、保育現場には ICT 導入・活用以前に解決すべき課題が存在することも見えてきました。

経済協力開発機構（OECD）の調査※7によると、日本の保育施設の園長・所長は「子どもの育ちや学び、生活に関する園の目標の策定（54%）」「園の質を向上するためのデータの活用（46%）」「保育者への効果的なフィードバックの提供（43%）」等の項目において、研修を通じた専門性向上の必要性が高いと回答しており、いずれも調査対象国の中で最も高い結果となりました。

また、当社が独自に実施した調査※8からは「研修を受講することで、園内や職員の雰囲気の変化や人材育成に対して寄与している（54%）」と半数以上の方が回答するも、「何が課題なのかが分からない（46%）」「単発の研修を受けても、日々の保育に反映・定着させることができていない（46%）」「人手不足のため、職員を研修に送り出すことが難しい（34%）」「地理的・日程的な事情で参加できない（24%）」等の施設側の課題も見えてきました。

このような背景を鑑み、ルクミー みらい保育スクールは、保育施設向けに保育の質の向上を目指すことをさらにサポートしようと開校に至りました。場所の制約を受けずに受講できるオンライン形式で、自園のなりたい姿を描き、何から取り組むべきかを明確にし、なりたい姿の実現に向けて伴走していく、これまでにない保育施設向けの新しい学びの場です。

※6：写真販売、検温、連絡帳、シフト作成にかかる業務時間の変化（当社モデル園における測定結果）

※7：出典「国際幼児教育・保育従事者調査 2018 保育の実践に関する保育者の意識」（経済協力開発機構）参加国：日本、チリ、デンマーク、ドイツ、イスラエル、アイスランド、韓国、ノルウェー、トルコ（デンマークは一部で回収率が低く比較対象外）

※8：保育士・幼稚園教諭資格保持者へインターネット調査を実施（期間：2021 年 3 月 12 日～15 日、有効回答数 500）

■ コース概要とカリキュラムのポイント

・子どもたちの未来につながる情報から「なりたい姿」を発見する「みらい保育コンテンツ」

汐見稔幸先生（東京大学名誉教授、白梅学園大学名誉学長）による「みらいのこどもたちのために、今できること」を始め、SDGs や小学校等の教育まで、なりたい姿の発見につながる半歩先の様々な情報を継続して提供します。未来のより良い社会のなかで子ども達が自分らしく生きていく力を育むために、保育者としてできることを考えるきっかけとなるコースです（全6回・セルフデザインコース、往還型コース受講者向けの無料講座）

・成功事例から「なりたい姿」を描ける「セルフデザインコース」

保育業界において様々な挑戦を行ってきた先生方を「みらい保育アンバサダー」として招聘。成功事例や体験をシェアしてもらうことで、自園のなりたい姿を具体的に描き、目標設定まで伴走します（全5回・3ヶ月コース）

・学びと実践の繰り返しによって「なりたい姿」を実現する「往還型コース」

多様性を活かす組織づくり、協力関係を作る指導コミュニケーション、ゆとりを生み出す業務改善、写真を活用した保育の振り返り等4つのテーマで展開し、無藤隆先生（白梅学園大学名誉教授）や大豆生田啓友先生（玉川大学教授）等高い専門性を持った講師陣から学ぶことができるコースです。いずれも、本質的な現場変革を目指し、学びと保育現場の実践を繰り返す「往還型」の研修です（各コース全4回・3～4ヶ月）

※講座の内容は状況により変更になる可能性があります。

■ みらい保育アンバサダーについて（五十音順）

＜みらい保育アンバサダー2021の先生方＞

※みらい保育アンバサダーとは、よりよい保育を目指したい園に伴走するパートナーです。



呉竹会 理事長
石田 雅一 先生



かがやきの森保育園うえだ 園長
今津 太陽 先生



RISSHO KID'S
きらり岡本 園長
坂本 喜一郎 先生



茶々保育園グループ CEO
迫田 健太郎 先生



仁慈保幼園 理事長
妹尾 正教 先生



くるみ学園 理事長
戸巻 聖 先生



刈谷ゆめの樹保育園 園長
中嶋 淳 先生



認定こども園さくら 園長
堀 昌浩 先生



あいおい子ども園 園長
村松 良太 先生



Step Up 統括管理者
村本 あすか 先生



つばさ福祉会 常務理事
渡部 史朗 先生



※五十音順
※法人形態は省略

- ・石田雅一先生（社会福祉法人呉竹会 理事長）
- ・今津太陽先生（社会福祉法人泉新会・かがやきの森保育園うえだ 園長）
- ・坂本喜一郎先生（社会福祉法人たちばな福祉会・RISSHO KID'S きらり岡本 常務理事・園長）



- ・ 迫田健太郎先生（茶々保育園グループ CEO）
- ・ 妹尾正教先生（社会福祉法人仁慈保幼稚園・世田谷代田仁慈保幼稚園 理事長・園長）
- ・ 戸巻聖先生（学校法人くるみ学園・認定こども園 くるみこども園 理事長・園長）
- ・ 中嶋淳先生（社会福祉法人フィロス・刈谷ゆめの樹保育園 園長）
- ・ 堀昌浩先生（社会福祉法人鐘の鳴る丘友の会・認定こども園さくら 園長）
- ・ 村松良太先生（学校法人リズム学園・あいおいこども園 園長）
- ・ 村本あすか先生（株式会社 Step up 統括管理者）
- ・ 渡部史朗先生（社会福祉法人つばさ福祉会 常務理事）

■ ルクミー みらい保育スクール概要

対象者	全国の保育者の方（施設長・園長、主任以上の先生方、現場の保育者の方）
開校日	プレ開校：2021 年 7 月 1 日（みらい保育コンテンツ・往還型コースのみ開校） 本開校：2021 年 9 月 1 日（上記に加えて、セルフデザインコースも開校）
形式	オンライン
HP	https://lookmee.jp/mirasuku/

3. ユニファ株式会社について

ユニファ株式会社は、保育・育児関連の社会課題解決を目指す“Childcare-Tech”領域のスタートアップです。「家族の幸せを生み出すあたらしい社会インフラを世界中で創り出す」をパーパス（存在意義）に、IoT や AI を活用した保育支援デバイスの開発およびサービスを提供しています。「スマート保育園・スマート幼稚園・スマートこども園」の展開を通じて、子育てしながら働きやすい社会作りに貢献しています。



■ 会社概要

会社名	ユニファ株式会社
代表取締役 CEO	土岐泰之
設立	2013 年
所在地	東京都千代田区富士見 1-8-19 住友不動産千代田富士見ビル 2 階
事業概要	保育支援サービス「ルクミー」シリーズの企画、開発、販売、運営。 「スマート保育園・スマート幼稚園・スマートこども園」の展開、推進。
企業 URL	https://unifa-e.com/

<報道関係者お問い合わせ先>

ユニファ株式会社 広報担当 担当：後藤 電話：03-6284-2666 mail：press@unifa-e.com